西武新宿線新聞

地下化特集号

発行者
新井小学校
4年安藤百渚

西武鉄道ロゴマーク

西武の「西」がモチーフになっている

ついに着工！

平成25年4月、中井～野方間の連続立体交差工事が開始しました。完成予定は2020年度、工事区間は2,354mです。新井薬師前駅と、沼袋駅は地下化され、区間内にある7つの踏切がすがたを消します。私はその7つの踏切の現状を取材して来ました。

踏切が消える!?

沼袋踏切まがくる

①沼袋第3号（幅4.8m）

7つの中では一番小さい。近くに保育園・小学校有り。

②沼袋第2号（幅6.0m）

駅前通りにつながるため、人通りが多い。

③沼袋第1号（幅8.0m）

沼袋駅前、バス停有り。いつも混ざっている。

なぜ地下化するの？

朝夕のラッシュ時には、踏切が1時間のうち合計で40～50分間も開かない事も有り、大変不便です。地下化により、交通じゅうたいが無くなり、地下化、駅前広場等の整備で、かいてきなまちづくりが期待できるからです。

新井薬師前駅

④新井薬師前第3号

（幅8.0m）

近くに保育園・ようち園有り。中野通りのうら道なので車が多く危険！

⑤新井薬師前第2号（幅20.0m）

JR中野駅につながる、かん線道路で、よくじゅうたいする。近くに私の小学校が有る。春のさくらがきれい。

⑥新井薬師前第1号

（幅9.0m）

駅前の商店街で近くに高校有り。バスも通る。しゃ断機をくぐる人もいる！

⑦中井第7号

（幅5.9m）

近くに小・中学校があり、子供が多い。

取材してわかったこと

実際に踏切を観察してみて、2つの大きな問題点に気付きました。一つは、車やバスで混ざつする、大きな道路を横切る踏切があること。二つ目は、保育園や小学校などが近くに有り、大ぜいの子供達が通って危険な踏切があることです。立体交差によって、これらの問題が解決すると良いと思います。

あとがき

工事により、私達の町は安全で便利になりますが、小さいころから親しんできた踏切の音や、電車の通る風景が無くなるのは少しさびしいです。特に、春のさくらと黄色い西武線が重なるのはとてもきれいで大好きです。あと何回見られるかわからないけれど、しっかり目と心に焼き付けたいです。

はん例
……地下化区間
……地下化する駅
……消える踏切

西武新宿線とは

東京都新宿区の西武新宿駅と、埼玉県川越市の本川越駅とを結ぶ全長47.5Kmの西武鉄道の路線です。